

1	審議会名	平成30年度第1回西部公民館運営審議会
2	日 時	平成30年10月31日(水) 午後4時30分から午後5時30分まで
3	会 場	上田市西部公民館大ホール
4	出席者	松本千恵子会長 小市武志副会長 溝口悦子委員 山崎順子委員
5	市側出席者	滝沢館長、中村次長、中部主査、滝沢主事、松山社会教育指導員、滝沢社会教育指導員
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成30年12月28日
協 議 事 項 等		
1	開 会 (事務局)	
2	あいさつ (会長)	
3	審議事項	
	(1) 平成30年度事業について	
	(事務局)	事業状況について、一括説明を行う。 公民館の利用者、件数が伸びている。駐車場完成後、4月以降の利用者、件数が増え、30年度は利用者が4万人を超える見込み。部屋別の利用率は多目的ホールが一番多いが、部屋数が増えたので全体の利用率は減っている。
	(委 員)	部屋の利用率が100%になるのはどういう状況か。また平均利用者数は何を意味するのか。
	(事務局)	利用率について、午前・午後・夜間の3コマが通年で埋まれば100%になる。3コマに対して件数で割った数字を出している。平均利用率は1回につき平均で何人が使用したのかを表している。どれだけ活用されたかという指標。
	(委 員)	部屋の活用率はどのくらいを目標にしているか。
	(事務局)	明確に目標は定めていない。利用率が多くなれば地域の人が使いにいくくなる。利用率というより利用者数をターゲットにしている。4万~4万5千人ぐらいで推移すればと思う。
	(委 員)	認知症介護相談会を取り組んでいて大変な事は何か。お知らせはしているか。
	(事務局)	公民館単独ではなく、西部地域包括支援センター、NPO 法人やじろべえー、高齢者介護課、西部公民館の共催で行っている。相談を受けているのは、西部地域包括支援センター、NPO 法人やじろべえーである。公民館だより等で周知している。
	(委 員)	事業実績の資料は項目ごとになっているが、女性以外も参加できる講座等が成人女性教育になっているのはなぜか。
	(事務局)	成人教育、女性教育という意味である。
	(委 員)	SNSでの情報発信はいつぐらいから行う予定なのか。
	(事務局)	館の内部で検討している段階である。年度内を目標に、できるだけ早く立ち上げたいと思う。一つのフェイスブックページを、9公民館合同で運営するか、単独の公民館でやるか、という議論も行っている。
	(委 員)	のびのび広場等、若い人の講座から段階的にやっていけばどうか。成果の出るやり方を検討してもらえれば。
	(委 員)	女性学級は15分館中の8分館とのこと。頑張っていると思った。高齢者生涯学習学級も8分館。老人会は、60歳超えると入れるが、60歳過ぎても入る人が少なく、役員のなり手がいない。これは全国的な問題であり、高齢者の団体

活動は、これから活性化が難しい問題だと思う。

(委員) 自然に親しむ教室は、事前説明(参加者交流)を始めてやった成果は？

(事務局) アンケートでは、9割の方が、事前説明(参加者交流)をやった方が良いという結果だった。当日は、参加者が、知らない人同士話しながら参加してもらえた。

(委員) ちょっとずつ新しいことを入れていくことは、素晴らしいことだと思う。

4 その他

西部まちづくりの会について説明(事務局)

5 閉会

- * 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。
- * 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。